

病名 (骨盤臓器脱) 症状 (会陰部違和感など)

患者番号：

患者氏名：

様

月日	/	/	/	/	/
経過 (病日等)	外来～手術前日(入院日)	手術<術前>	手術<術後>	手術後1日目	手術後2日目
達成目標	☆手術に対して理解ができ、不安が表出できる		☆苦痛の緩和を図る ☆創部の異常がない	☆創部の異常がない ☆退院後の生活について理解できる	
治療 ・ 薬剤 (点滴・内服)	☆現在服用しているお薬を確認させていただきます ☆入院中、内服薬は原則としてご報告頂いた内容に基づき、病院から用意いたします。 ☆明日の手術に備え、睡眠剤と下剤を飲みます。(22時ごろ)	☆手術着に更衣し点滴をします。 ※点滴は翌日まで続きます。	☆手術後点滴があります 	☆点滴があります。 ☆点滴終了後針を抜きます。 ☆内服薬 (鎮痛剤・緩下剤) が開始になり説明に伺います。	☆内服薬 (抗生剤) 開始です。 
処置	次のことを看護師と確認します。 ☆手術に必要な物をそろえて下さい。(ストロー又は吸い飲み、バット) ☆書類の提出の確認をさせていただきます。(手術同意書・バットシート・入院同意書) ☆リストバンドを手首につけます。 ☆に体温・脈拍・血圧など測定します。	☆洗滌をします。(朝食前の時間帯) ☆義歯・コンタクト・眼鏡・化粧品 アクセサリー等は外してください。 ☆歩いて手術室へ行きます。 (手術同意書・バットシート・入院同意書) ☆手術部位の除毛をします。(手術室で麻酔してから行います) ☆手術室へ行く前に体温・脈拍・血圧測定します。	☆手術後は、腫にガーゼが入っていることがあります。 ☆創部の確認をします。 ☆心電図モニター・酸素を装着します。 ☆フットポンプを装着します。(血栓予防の機械) ☆手術後は看護師が定期的に体温・脈拍・血圧測定します。	☆創部の確認をします。 ☆腫ガーゼが入っている人はガーゼを抜きます。(主治医より) 9時までに ☆朝にフットポンプを外します。 ☆定時に体温・脈拍血圧等測定します。	☆手術後3日目の朝食前に、膀胱留置カテーテルを抜きます →
検査	☆手術前の検査を受けられているか確認します。(胸部・腹部のレントゲン・心電図・血液・検尿)			☆6時ごろに採血があります。 	☆前排尿後に残尿工コー・体重測定を行います(手術後3日目・5日目)
活動・安静度	☆院内自由です。		☆ベッド上安静です ※寝返りはできます。	☆トイレ・洗面のみ歩行可能です。	☆トイレや洗面など積極的に動いて下さい ☆術後3日目から院内自由です。
リハビリ	☆入院中は特にリハビリは予定していません				
食事	☆普通食がです。 ☆21時ごろより絶食になります。 水分摂取については看護師が説明します。	☆絶食です。	☆手術後酸素を外した後に看護師が確認してから水分を摂る事が出来ます。	☆朝食は5分粥、昼食は全粥夕食は普通食です。 	→
清潔	☆入院当日、入浴・洗髪を済ませて来院して下さい。 ☆爪の長い方は切ってください。 マニキュア・化粧品も落として下さい。 	☆起床後洗面・歯磨きを済ませて下さい。 	☆看護師の介助でうがいが可能です。	☆体を拭きます。 	☆手術後3日目からシャワー浴が可能になります。 女性：火・木・土
排泄			☆手術後は、膀胱留置カテーテルが入っています。 尿は、自然に出ます。	☆ウォシュレットは使用禁止です。(手術後1ヶ月程度まで) →	☆1回目の排尿前に、看護師に知らせてください。 ☆排尿チェック用紙に、排尿時間、排尿量を記入してもらいます。(カテーテル除去後指示あるまで)
患者さま及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	☆看護師によるオリエンテーションがあります。 ・病棟案内、入院中の日課など説明します。 ・入院までの経過など病状を伺います。 ・手術の予定と入院中の予定について説明します。 ☆麻酔科医より説明があります。 ☆治療・手術などのついでに質問がありましたら看護師にお知らせください。 ☆呼吸訓練を行います。(購入時から手術前まで)		☆痛みがあるときは、我慢せずにお知らせください。 	☆退院後の生活の説明用紙をお渡しします。 	☆退院が近くなりましたら次回受診日について説明します。 ☆主治医の許可がければ、退院となります。
退院に向けて (在宅復帰支援計画) 相談	退院に向けてお困りごとや不安なことがありましたら病棟担当相談員、又は担当看護師にご相談下さい			退院後の<<治療計画>> ・次回受診 ()	
その他 (看護計画など)	安全・安楽に検査・治療が受けられるようサポートしてまいります。			退院後の<<療養上の問題点>> ・	